

サラリーマン世帯の主婦500名に聞く「2013年夏のボーナスと家計の実態調査」**平均手取額は過去最低を記録した昨夏から8.8万円増の69.9万円****主婦の“へそくり”の平均額は416.0万円(昨夏比+31.7万円)で調査開始以来最高額に****家計においてのアベノミクス効果は「感じられない」(89.8%)という声が圧倒的**

損保ジャパン・ディー・アイ・ワイ生命保険株式会社(社長:山本 学)は、全国の20~50代のサラリーマン世帯の主婦500名(各年代毎125名 平均年齢39.8歳)を対象に、「2013年夏のボーナスと家計の実態」をテーマとしたアンケートを、2013年6月7日(金)~12日(水)に実施いたしました。

今回の調査では、ボーナス平均手取額が69.9万円と、昨夏の平均手取額から8.8万円増加する結果となりました。ボーナスの今後の見通しについては、「増えていくと思う」(29.2%)が「減っていく+なくなると思う」(25.6%)をやや上回り、また、この1年で金融資産が「増えた」(26.2%)世帯が約3割と、「減った」(19.6%)という回答を上回るなど、明るい見方が増加している様子がうかがえました。

しかしながら、家計においてのアベノミクス効果は「感じられない」(89.8%)という声が圧倒的多数を占めました。その理由としては、「生活に変化がなかった」などの声が多くあがっています。また、主婦が詠むボーナス川柳では、「ボーナスに アベノミクスは 関係なし」など、世相を反映するものが目立ちました。

一方で、『夫に内緒の資産(へそくり)』は、所持金額が過去最高を記録した昨夏から31.7万円増の416.0万円と、過去最高を更新した結果となっており、依然として「貯める」意識が高いことが見て取れます。

第26回損保ジャパンDIY生命アンケート「2013年夏のボーナスと家計の実態調査」の結果概要は以下のとおりです。

《「2013年夏のボーナスと家計の実態調査」の主な結果》**<2013年夏のボーナス>**

- 夏のボーナス「増えた」は37.4%、「減った」は22.6%。平均手取額は69.9万円(昨夏比+8.8万円)。
- ボーナスの使い道トップは「預貯金」が(70.0%)と圧倒的。
- 夫に渡す小遣いは平均11.4万円と増加(昨夏比+0.6万円)するも、“渡す”主婦は減少(51.2%→47.0%)。
- この夏臨時ボーナスをあげたい人は「指原莉乃(HKT48)」「本田圭佑」らが支持を集めます。
- 主婦が詠む夏のボーナス川柳「サラリーマン アベノミクスはまだ遠い」など世相を反映したものも見られた。

<家計の現状/わが家の生活防衛策>

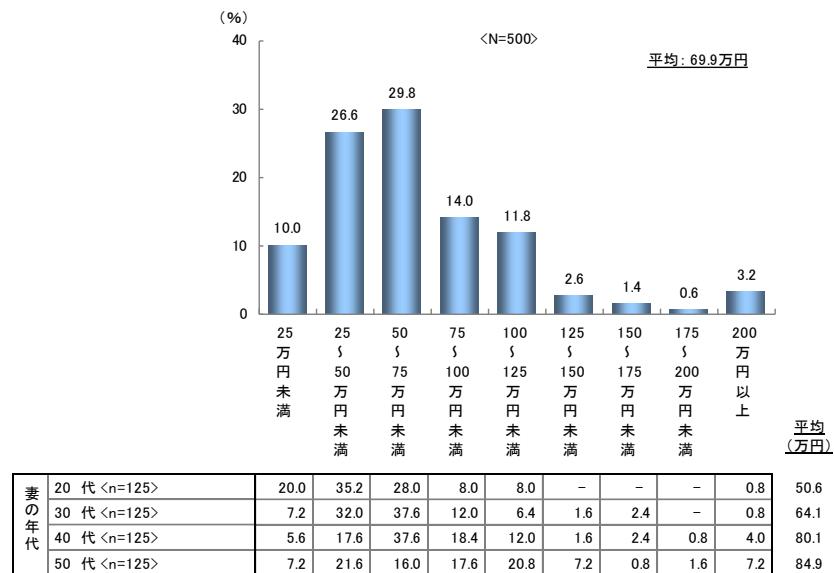
- 家計が「苦しい」(59.8%→53.2%)は減少し、「楽である」(40.2%→46.8%)が半数に迫る結果に。
- 今後の見通しについても「厳しくなっていく」(43.0%→35.0%)「楽になっていく」(13.6%→17.4%)と、改善傾向がみられる。
- 世帯の金融資産は「増えた」(26.2%)が「減った」(19.6%)を上回り、1年間の増加額平均は133.4万円。
- 家計において「アベノミクス」効果は「感じられない」(89.8%)という声が圧倒的。
- 国内旅行で行ってみたい都道府県では、「北海道」(27.0%)、「沖縄」(24.2%)の人気が高い。
- 夏の参議院選挙から一部解禁される「ネット選挙」は半数弱(45.0%)が「活用したい」と回答。
- 『夫に内緒の資産(へそくり)』の所持率(43.6%→41.8%)はほぼ前年並みだが、所持平均額は「384.3万円」→「416.0万円」と増加。
- 夫の出世のために妻が投資できることのトップは「資格取得」の費用で、なかには「希望するものは何でも」と夫の出世を強く願う回答も見られた。

※「昨夏」は2012年夏を指します。(○○%→△△%)は昨夏との比較を表します。

《2013年夏のボーナス》

平均手取額は昨夏から8.8万円増の69.9万円。 昨夏のボーナスと比較して「増えた」(37.4%)が「減った」(22.6%)を上回り、増減の平均金額は「+1.1万円」。

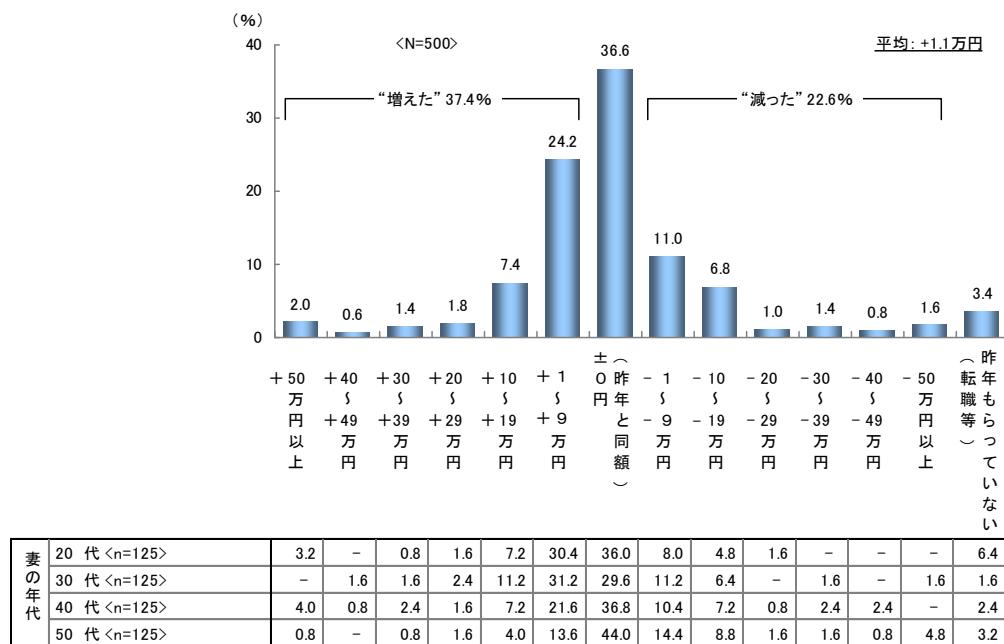
2013年夏のボーナス手取額



今夏のボーナス手取額を聞いたところ、「50~75万円未満」(29.8%)が最も多く、続く「25~50万円未満」(26.6%)を合わせると、「25~75万円未満」が半数以上(56.4%)を占めています。

平均金額は昨夏から8.8万円増の69.9万円となりました。調査開始以来最高額となった2007年夏(77.9万円)と比較すると8万円の差がありますが、昨年の平均額からは大幅な増加が見られ、回復の傾向がうかがえました。

昨夏のボーナスと比較しての増減



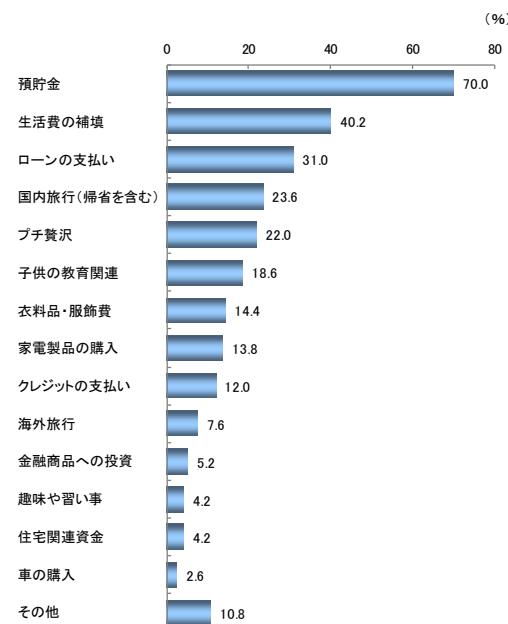
昨夏のボーナスと比較すると、ボーナスが「増えた」(37.4%)は「減った」(22.6%)より15ポイントほど多く、増減の平均額は「+1.1万円」で、わずかに増加傾向がみられました。

《ボーナスの使い道》

ボーナスの使い道は「預貯金」(70.0%)がトップ。

ボーナス総額のうち各用途別の割合を聞いたところ、「預貯金」(37.7%)は4割弱を占める。

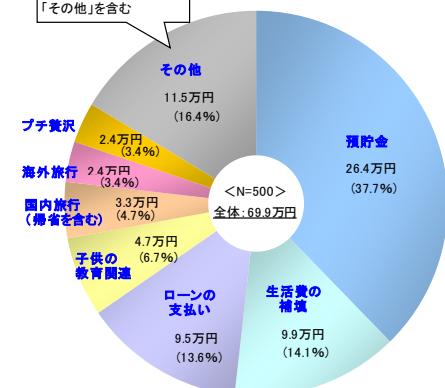
この夏のボーナスの主な使い道(複数回答)



ボーナスの主な使い道の総額に占める割合

(この夏のボーナス平均手取り額 69.9 万円を総額とし、金額に換算)

「クレジットの支払い」
「家電製品の購入」
「衣料品・服飾費」
「金融商品への投資」
「住宅関連資金」
「車の購入」
「趣味や習い事」
「その他」を含む



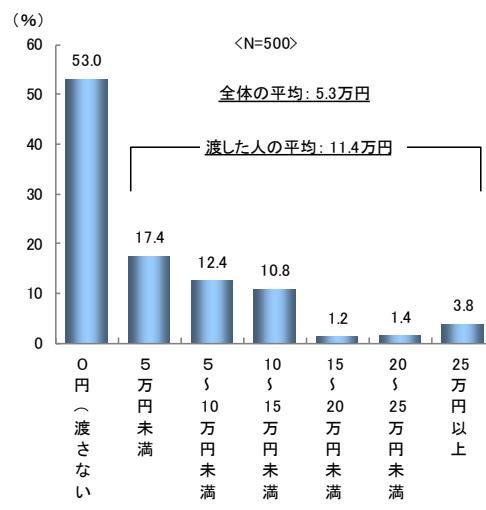
<N=500>
全体・69.9万円

ボーナスの主な使い道には、「預貯金」(70.0%)をあげる人が7割、次いで「生活費の補填」(40.2%)、「ローンの支払い」(31.0%)と続きます。“将来への備え”や“家計のやりくり”を意識して使う人が多く、家計の厳しい状況がうかがえます。

《ボーナスの中から夫に渡した小遣いの額》

ボーナスから夫に小遣いを「渡さない」と答えた主婦(53.0%)が半数を超えて、渡した(渡そうと思っている)金額の平均は「11.4万円」と昨夏の「10.8万円」からやや増加。

ボーナスの中から夫に渡した(渡そうと考えている)小遣いの額



<N=500>

全体の平均: 5.3万円

渡した人の平均: 11.4万円

今回のボーナスの中から、夫に小遣いとして渡した、あるいは渡そうと思っている金額を具体的に聞きました。渡した、あるいは渡そうと思っている主婦(47.0%)は昨夏に比べておよそ4ポイント減少しましたが、金額の平均は「11.4万円」とわずかに増加し、夫をいたわる妻の姿がうかがえました。

《臨時ボーナスをあげたいと思う人とあげたいボーナス額》

芸能界では「指原莉乃(HKT48)」(12件)、スポーツ界は「本田圭佑」(51件)、その他の分野では「自分」(8件)が1位に。最も多く票を集めたのは「本田圭佑」(51件)で、渡したいボーナス金額(平均)では「福山雅治」(1,950万円)がトップ。

臨時ボーナスをあげたいと思う人とあげたいボーナス額トップ10

芸能界			スポーツ界			その他									
順位		件数	平均金額(万円)	最高額(万円)		順位		件数	平均金額(万円)	最高額(万円)	順位		件数	平均金額(万円)	最高額(万円)
1	指原莉乃(HKT48)	12	61	200		1	本田圭佑	51	740	10,000	1	自分	8	83	200
2	嵐	9	964	5,000		2	錦織圭	21	549	5,000	2	林修(東進ハイスクール)	6	109	300
3	中村昌也	8	675	4,000		3	ダルビッシュ有	10	501	1,000	3	橋下徹	5	156	500
4	キンタロー。	7	64	100		4	浅田真央	7	301	1,000	4	安倍晋三	5	101	300
5	AKB48	6	215	1,000		5	イチロー	7	196	1,000	5	DJポリス	4	65	100
	福山雅治	6	1,950	10,000		6	サッカー日本代表	7	621	2,000	6	三浦雄一郎	4	563	1,000
7	マツコデラックス	5	94	100		7	香川真司	6	476	2,000					
8	有吉弘行	4	313	1,000		8	内村航平	5	166	500					
	スギちゃん	4	75	100		9	石川遼	4	308	1,000					
	SMAP	4	750	1,000		10	大谷翔平	4	78	100					
							吉田沙保里	4	138	300					

総合得票・ボーナス金額(平均)トップ10

総合ランキング(票数)

順位		得票数
1	本田圭佑	51
2	錦織圭	21
3	指原莉乃(HKT48)	12
4	ダルビッシュ有	10
5	嵐	9
6	中村昌也	8
	自分	8
8	キンタロー。	7
	浅田真央	7
	イチロー	7
	サッカー日本代表	7

総合ランキング(金額)

順位		平均金額(万円)
1	福山雅治	1,950
2	嵐	964
3	SMAP	750
4	本田圭佑	740
5	中村昌也	675
6	サッカー日本代表	621
7	三浦雄一郎	563
8	錦織圭	549
9	ダルビッシュ有	501
10	香川真司	476

臨時ボーナスをあげたい人を聞いたところ、**芸能界**では、「指原莉乃(HKT48)」(12件)、「嵐」(9件)、「中村昌也」(8件)、**スポーツ界**では、「本田圭佑」(51件)、「錦織圭」(21件)、「ダルビッシュ有」(10件)、**その他の分野**では、「自分」(8件)、「林修(東進ハイスクール)」(6件)、「橋下徹」(5件)がトップ3となりました。最も多くの票を獲得したのは、ワールドカップ出場を決めた試合でPKを決めた「本田圭佑」(51件)でした。また、イングランドで活躍した錦織圭、第5回 AKB48 選抜総選挙で1位に輝いた「指原莉乃(HKT48)」など、世間に明るいニュースをもたらした人が支持を集め結果となりました。また、臨時ボーナスとしてあげたい平均金額がもっとも高かったのは、主演ドラマが人気を博した「福山雅治」(1,950万円)でした。

《主婦が詠む「ボーナス川柳」》

家計を預かる主婦が詠んだ「ボーナス川柳」は、「夏ボーナス 入るとすぐに 消えていく」

「ボーナスの うきうき感は たまらない」など、悲喜こもごも。

「サラリーマン アベノミクスは まだ遠い」といった世相を反映させたものもみられた。

主婦が詠むボーナス川柳

【家計のやりくりの大変さ】

- ・金額が いくらになろうと 子供行き・夏ボーナス 入るとすぐに 消えていく
- ・ボーナス日 次のボーナス 待ち遠し・ボーナス日 いつもと同じ 夕ご飯
- ・ボーナスが 手元にあるのは その日だけ

【ボーナスの額を見てガッカリした気持ち】

- ・ボーナス出 嬉しいはずが 悲しい日

【世相を反映】

- ・やっときた アベノミクスよ ありがとう・ボーナスに アベノミクスは 関係無し
- ・サラリーマン アベノミクスは まだ遠い

【使い道は貯蓄が最優先】

- ・ボーナスは 銀行口座の 移動だけ・ボーナスは ないとみなして 貯金する

【ボーナスが出たことへの感謝】

- ・ボーナス日 無事に支給で ほっとする・ボーナスは 雀の涙 でも感謝
- ・ボーナスの うきうき感は たまらない

【夫への感謝の気持ち】

- ・ボーナス日 夕飯一品 多くする・ボーナスデー 少し多めに ビール買う

【ボーナスが出ただけマシ】

- ・ボーナスが 出るだけ感謝の ここ数年・ボーナスが あるだけマシと思わねば

【使い道は旅行や食事】

- ・ボーナスで 楽しい夏が やってくる・ボーナスが 入った途端 豪沢に

【ボーナスに期待していない】

- ・ないものと 思っていれば 幸せに

【ボーナスの額を見て喜んだ気持ち】

- ・ボーナスが 意外と多く みな笑顔

【今後のボーナスが不安】

- ・ボーナスに 頼れる幸せ いつまでか

川柳に詠まれた主な内容

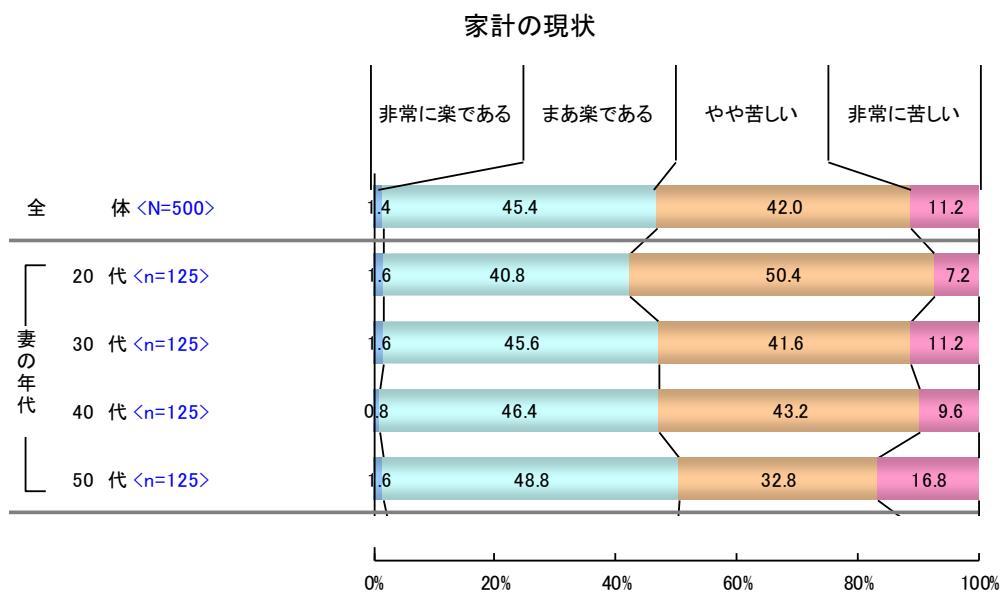
順位		件数
1	家計のやりくりの大変さ	85
2	ボーナスの額を見てガッカリした気持ち	46
3	世相を反映	34
4	使い道は貯蓄が最優先	20
5	ボーナスが出たことへの感謝	19
6	夫への感謝の気持ち	16
7	ボーナスが出ただけマシ	15
8	使い道は旅行や食事	13
9	ボーナスに期待していない	10
10	ボーナスの額を見て喜んだ気持ち	9
11	今後のボーナスが不安	8

ボーナスをもらった感想を川柳に詠んでもらったところ、もっとも多く詠まれた「家計のやりくりの大変さ」(85件)の他にも、「ボーナスの額を見てガッカリした気持ち」(46件)、「使い道は貯蓄が最優先」(20件)など家計の厳しい現状が感じられるような内容が目立ちました。

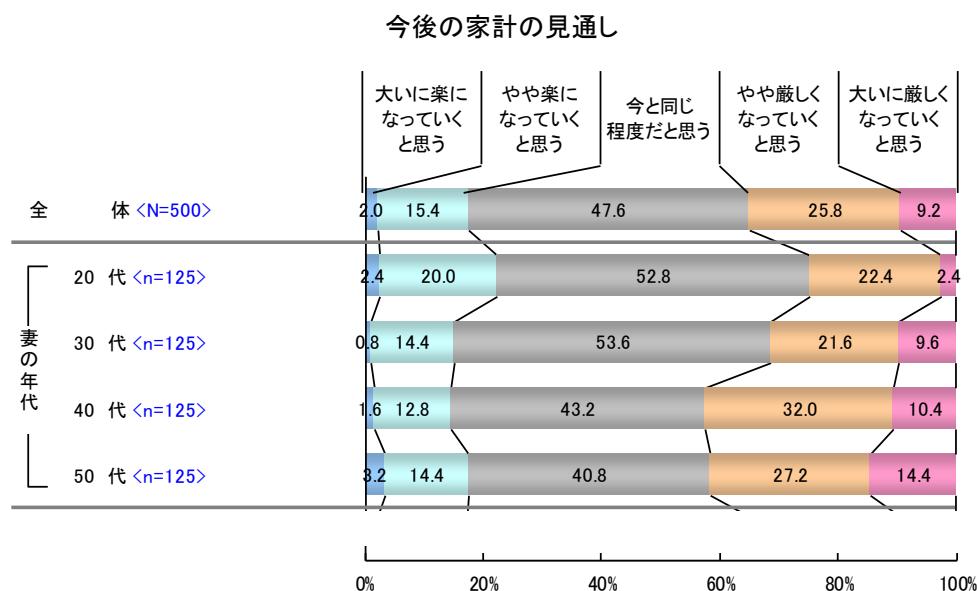
「世相を反映」(34件)はアベノミクスを詠みこんだものが多かったことから3位にランクインする結果となりました。

《家計の現状と今後の見通し》

現在の家計が“苦しい”(53.2%)と答えた主婦は昨年の 59.8%から減少。今後の家計の見通しについては、“楽になっていく”(13.6%→17.4%)がやや増加し、徐々に改善傾向がみられる結果となった。



家計をやりくりする主婦は現在の家計をどうみているのか聞くと、「非常に楽である」(1.4%)、「まあ楽である」(45.4%)を合わせた“楽である”(46.8%)という回答が半数近くを占めたものの、「非常に苦しい」(11.2%)、「やや苦しい」(42.0%)を合わせた“苦しい”(53.2%)という回答の方が多い結果となりました。しかし昨年の結果と比較すると“苦しい”(59.8%→53.2%)がやや減少し、“楽である”(40.2%→46.8%)が増えています。

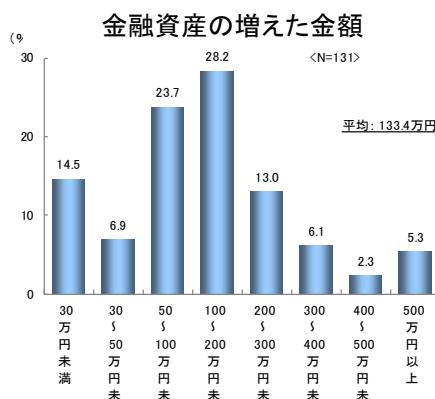
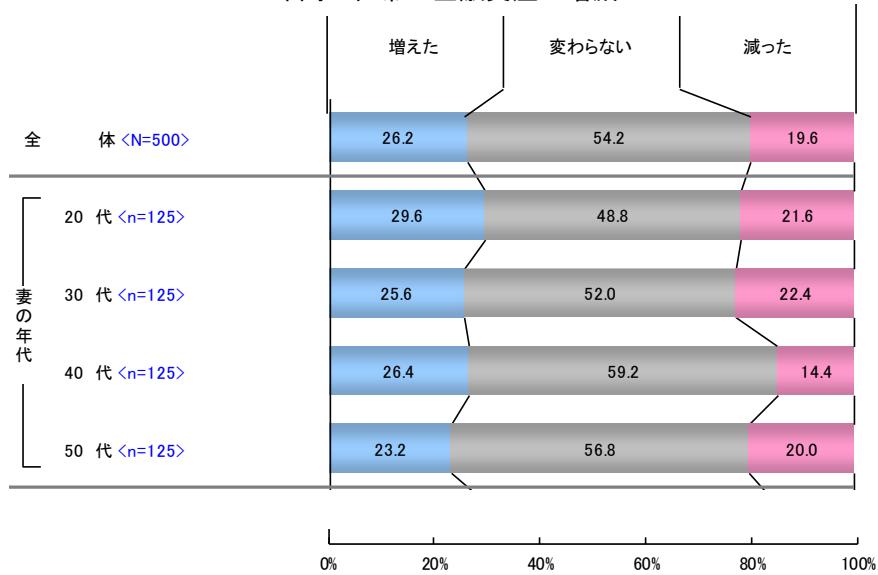


次に今後の家計の見通しについて聞いたところ、「大いに楽になっていくと思う」(2.0%)と「やや楽になっていくと思う」(15.4%)を合わせた“楽になっていく”(17.4%)という見方は 2 割弱で、「大いに厳しくなっていくと思う」(9.2%)、「やや厳しくなっていくと思う」(25.8%)を合わせた“厳しくなっていく”(35.0%)という回答が倍以上という結果となりました。しかし、昨年の結果と比較してみると、“厳しくなっていく”(43.0%→35.0%)が 8 ポイント減少し、“楽になっていく”(13.6%→17.4%)がやや増加しています。厳しい見方が強い家計の状況ですが、少しずつ改善傾向がみられるようです。

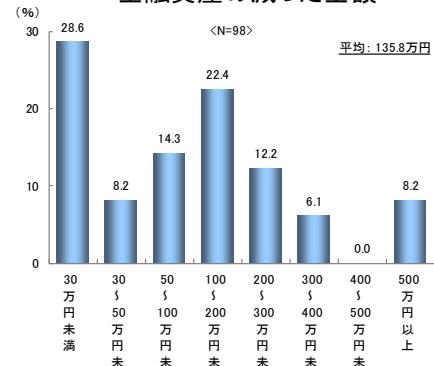
《世帯の1年間の金融資産の増減》

1年間の金融資産の増減を聞いたところ、「減った」(19.6%)を「増えた」(26.2%)がやや上回る結果となった。増えた額の平均は「133.4万円」、減った額の平均は「135.8万円」。

1年間の世帯の金融資産の増減



金融資産の減った金額



<増えた理由>

順位		件数
1	こつこつ貯めたから・定期預金	64
2	株などで運用益が出たので	16
3	節約したから	15
4	ボーナスを貯金したから	13
5	昇給などで収入が増えたから	9
6	自分も働くようになったので	5
7	子供にかかる費用・ローンが減ったので	4
8	保険の支払い・退職金などの臨時収入があったから	3

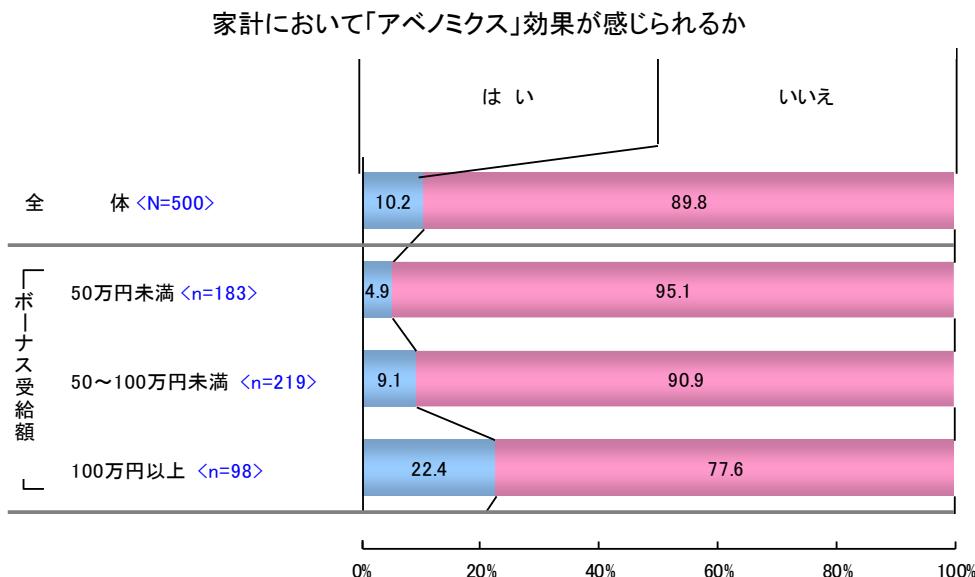
<減った理由>

順位		件数
1	子供の教育費に使ったから	24
2	家を購入したので・住宅ローンに充てたので	19
3	車を購入したので	11
	冠婚葬祭に使ったため	10
4	収入が減ったため	10
	医療費が増えたため	10
7	趣味などに使ったため	7
8	生活費に補填したから	5
9	株や投資などで目減りした	4

1年間での世帯の金融資産の増減を聞いたところ、「減った」(19.6%)を「増えた」(26.2%)がやや上回り、増えた額の平均は「133.4万円」、減った額の平均は「135.8万円」となりました。また理由を聞いたところ、「増えた」のは「こつこつ貯めたから・定期預金」(64件)、「減った」のは「子供の教育費に使ったから」(24件)がそれぞれトップとなりました。「増えた」理由の中には、昨夏までには見られなかった「株などで運用益が出たので」(16件)という回答もあり、主婦が世帯の金融資産を増やすために工夫をしている様子がうかがえました。

《家計において「アベノミクス」効果が感じられるか》

家計において「アベノミクス」効果が表れているか聞いたところ、「はい」は約1割(10.2%)にとどまり、「いいえ」(89.8%)という回答がほとんど。効果が感じられる理由は、「株価が上がった・得をしたから」(22件)、効果が感じられない理由は、「生活に変化がないから」(207件)がそれぞれトップ。



<感じられる理由>

順位		件数
1	株価が上がった・得をしたから	22
2	ボーナスが上がったから	13
3	給与が上がったから	7
4	外貨預金が増えたため	6
5	投資信託が上がったから	3

<感じられない理由>

順位		件数
1	生活に変化がないから	207
2	給与が上がったわけでもないから	158
3	物価が上昇したから	25
4	給与が減ったから	22
5	ボーナスが減ったから	7
6	株など運用していることがなく利益がないから	5

自民党安倍政権の進めている経済政策、いわゆる「アベノミクス」はよく知られていますが、家計において「アベノミクス効果」が感じられているでしょうか。

「はい」という回答は約1割(10.2%)にとどまり、ほとんどの人は「いいえ」(89.8%)と答えています。

効果が感じられる理由は、「株価が上がった・得をしたから」(22件)が最も多く、以下「ボーナスが上がったから」(13件)、「給与が上がったから」(7件)などでした。効果が感じられない理由は、「生活に変化がないから」(207件)、「給与が上がったわけでもないから」(158件)と“変化がない”ことが挙げられました。

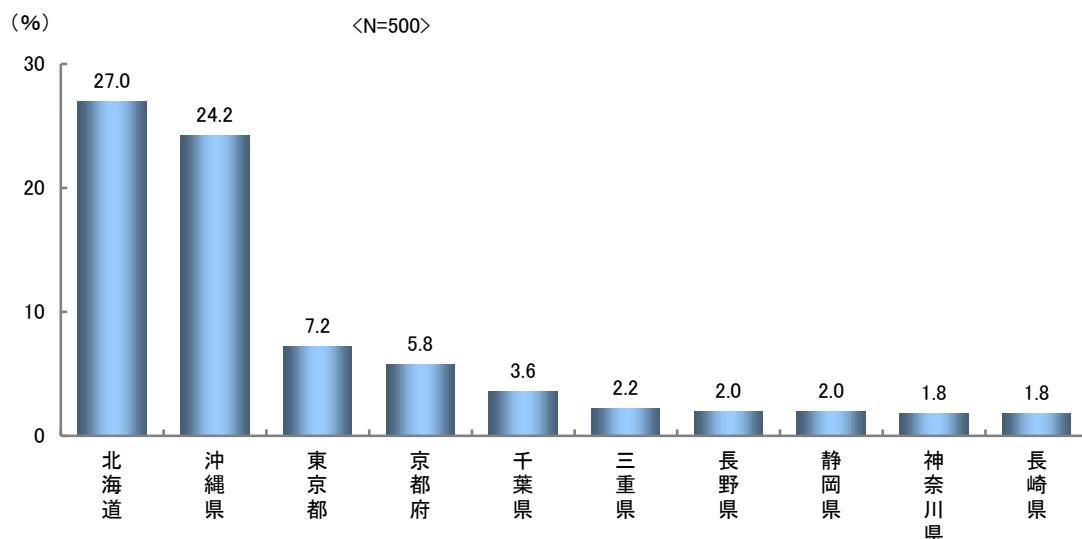
前頁の設問の回答で、世帯の金融資産が「増えた」(26.2%)が「減った」(19.6%)を上回るも、「変わらない」(54.2%)と「減った」(19.6%)の合計である“増えなかつた”(73.8%)という声が7割以上を占めていることからも、アベノミクス効果が家計に及んでいない実態がうかがえます。

《国内旅行するならどの都道府県に行きたいか》

旅行してみたい都道府県では、「北海道」(27.0%)と「沖縄県」(24.2%)の人気が高い結果に。

北海道に行ってみたい理由としては「美味しい食べ物があるから」(29件)、沖縄県は「海がきれいだから」(42件)という声が多かった。

もし国内旅行するならどの都道府県に行きたいか(ベスト10)



今年のゴールデンウィークは、円安や富士山の世界遺産登録などの理由から、国内旅行が人気でした。では、もし国内旅行するならどの都道府県に行きたいと思っているでしょうか。

「北海道」(27.0%)と「沖縄県」(24.2%)がともに2割台で多く、日本の北端と南端に人気が集まっています。

その都道府県に行きたい理由(自由回答:件)

<北海道>

順位		件数
1	美味しい食べ物があるから	29
2	行ったことがないから	27
3	自然が豊かだから	25
4	夏の避暑地として	14
5	以前行って良かったから	10
6	のんびりしたいから	5
	実家がある、親戚がいるから	5
	旭山動物園に行きたいため	5

<沖縄県>

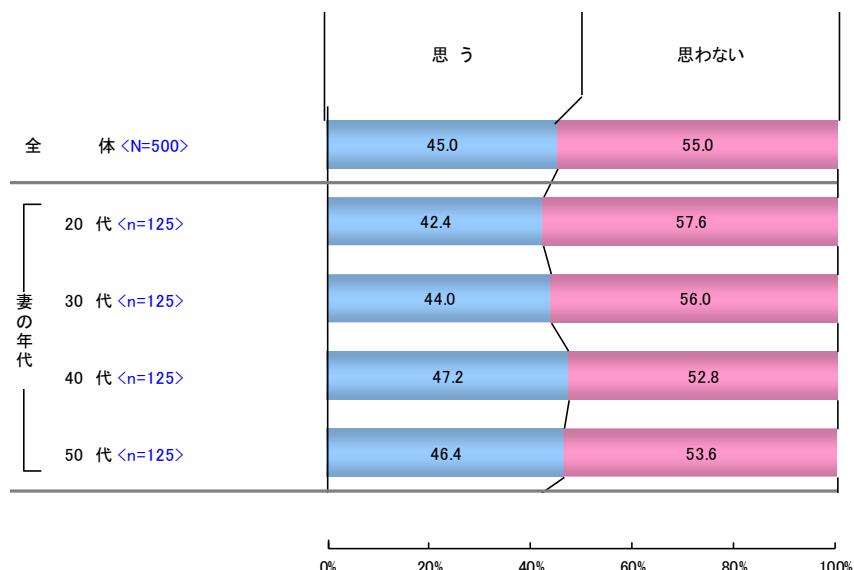
順位		件数
1	海がきれいだから	42
2	のんびりリゾート気分を楽しみたいから	41
3	行ったことがないから	14
4	以前行って良かったから	12
5	好きだから	7

その都道府県に行きたい理由は何か、自由回答で聞いた結果を上位の都道府県についてみると、まず北海道は、「美味しい食べ物があるから」(29件)、「行ったことがないから」(27件)、「自然が豊かだから」(25件)、「夏の避暑地として」(14件)、「以前行って良かったから」(10件)などの順となっており、“おいしい食べ物”、“自然の豊かさ”、“夏の涼しさ”などがキーワードとなっています。沖縄県については、「海がきれいだから」(42件)、「のんびりリゾート気分を楽しみたいから」(41件)が多くなっています。

《「ネット選挙」を情報収集に活用したいと思うか》

夏の参議院選挙で一部解禁になる「ネット選挙」を活用してみたいと「思う」(45.0%)人は半数弱にとどまった。活用してみたいと「思わない」理由としては、「興味がないから」(96件)がもっとも多いという結果に。

「ネット選挙」を情報収集に活用してみたいと思うか



<活用したいと思う理由>

順位		件数
1	今までより多くの情報を得られると思うから	64
2	便利・手軽だから	55
3	情報収集しやすいから	43
4	いつでも閲覧できるから	28
5	新しいので試しに活用	11
	家でも情報を得られるから	11

<活用したいと思わない理由>

順位		件数
1	興味がないから	96
2	面倒だから	27
3	信憑性がないから	24
4	これまでの媒体で十分だから	20
	政治・政治家に期待していないから	20
6	そもそもよくわからない	13
7	時間がないため	11
8	ネットがよくわからない・苦手だから	6

活用したいと思う理由は、「今までより多くの情報を得られると思うから」(64件)、「便利・手軽だから」(55件)、「情報収集しやすいから」(43件)、「いつでも閲覧できるから」(28件)などの順で、有用な情報源として期待しているようです。

一方、活用したいと思わない理由は、「興味がないから」(96件)が突出して多く、次いで「面倒だから」(27件)と、「関心のなさ」が最も大きな理由ですが、そのほか「信憑性がないから」(24件)といった“信頼性”に関するものや、「これまでの媒体で十分だから」(20件)、「政治・政治家に期待していないから」(20件)などの理由もみられます。

《夫が出世するためにできること》

主婦が夫の出世のために投資できることについて聞いたところ、もっとも多かったのは「資格取得」(146件)。「身の回り品（鞄、靴、時計など）」(27件)など“身につけるもの”を挙げる声も多かった。

夫が出世するために投資できること

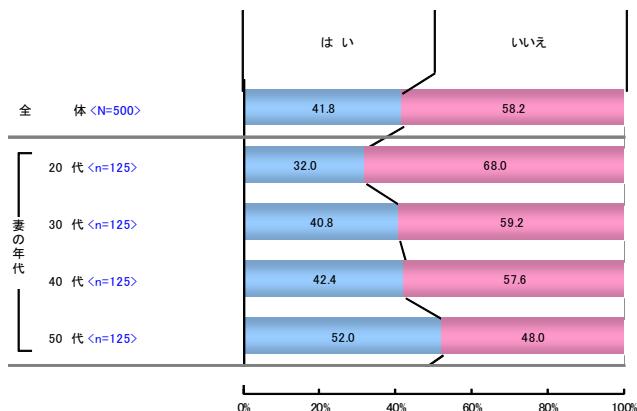
順位		件数
1	資格取得	146
2	英会話	39
3	身の回り品(鞄、靴、時計など)	27
4	交際費	22
5	スーツ	19
	希望するものは何でも	19
7	ゴルフ(接待含む)	18
8	スキルアップの教材やスクール	16
9	書籍	9
10	健康管理	8

終身雇用や年功序列などの日本型雇用制度は崩れつつあると言われていますが、「夫が出世できるならば」と投資できることがあるかどうか、自由回答で聞いてみたところ、「資格取得」(146件)が圧倒的に多く、次いで「英会話」(39件)や「スキルアップの教材やスクール」(16件)など、“夫のスキルアップ”をあげる人が多くなっています。それ以外では、「身の回り品(鞄、靴、時計など)」(27件)、「スーツ」(19件)といった“身につけるもの”や、「交際費」(22件)、「ゴルフ(接待含む)」(18件)などの費用、そして「希望するものは何でも」(19件)という回答もみられます。

《夫に内緒の資産（へそくり）》

所持率は昨年並み(43.6%→41.8%)だが、平均所持額は「384.3万円」→「416.0万円」と大幅に増加。

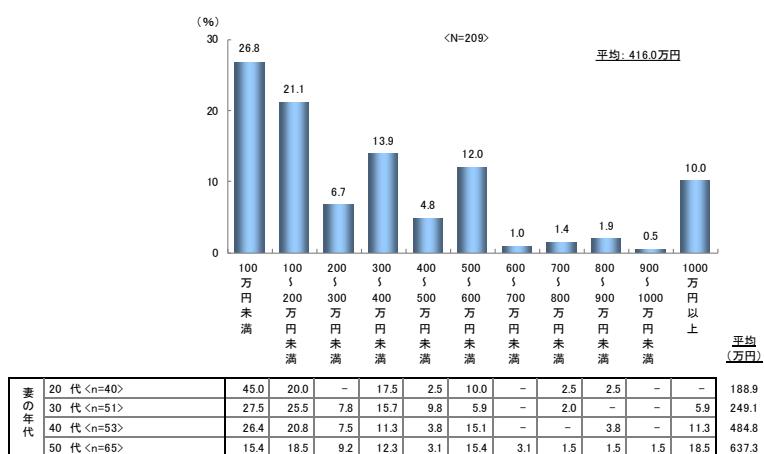
『夫に内緒の資産（へそくり）』を持っているか



サラリーマン世帯の主婦は、『夫に内緒の資産』をどのくらいの割合の人が持っているのでしょうか。『夫に内緒の資産』があるかについて聞いたところ、約4割(41.8%)が「はい」と回答しています。

昨夏の調査結果と比べると、保有者の割合は43.6%→41.8%とやや減っています。

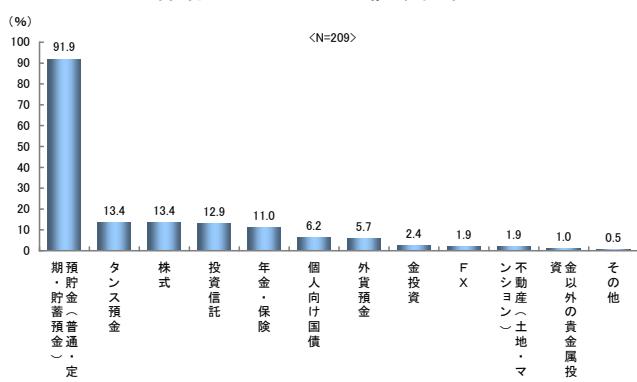
『夫に内緒の資産』をいくらくらい持っているか



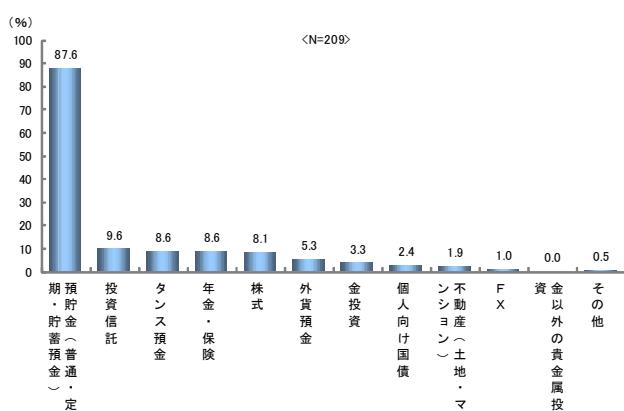
『夫に内緒の資産』の保有額を聞くと、「100万円未満」(26.8%)が最も多く、続く「100~200万円未満」(21.1%)を合わせた“200万円未満”(47.9%)がほぼ半数を占めています。以下「300~400万円未満」(13.9%)、「500~600万円未満」(12.0%)、「1000万円以上」(10.0%)がそれぞれ1割台で続いています。中には「1億7千万円」、「1億円」という人がそれぞれ1名いますが、その2名を除いた資産保有額の平均は、「416.0万円」です。

現状、『夫に内緒の資産』はどのような形で

保有されているか(複数回答)



今後はどのような形で保有したいか(回答は2つまで)



『夫に内緒の資産』の保有形態について聞いたところ、現状の保有形態では「預貯金(普通・定期・貯蓄預金)」(91.9%)が圧倒的に多く、そのほかでは、伝統的な保有形式とも言えそうな「タンス預金」(13.4%)や、「株式」(13.4%)などが続きます。また、今後は『夫に内緒の資産』をどのような形で保有したいか聞いてみたところ、現在と同様「預貯金(普通・定期・貯蓄預金)」(87.6%)が圧倒的に多く、そのほかでは「投資信託」(9.6%)、「タンス預金」「年金・保険」(各 8.6%)、「株式」(8.1%)といった回答がみられました。

【参考】サラリーマン世帯の主婦に聞く『夏のボーナスと家計の実態調査』過去推移

年	夏調査																	票数
	ボーナス			ボーナスの今後の見通し			へそくり			夫の小遣い		家計の苦しさ		家計の今後の見通し			臨時ボーナスを あげたい人 (最多回答)	
平均 手取り (万円)	増えた	減った	増える	減る+なく なると思う	変わら ない	平均所 持率	持つてい る人の平 均 (万円)	最高 金額 (万円)	渡した人 の平均 (万円)	小遣い なしの 割合	楽で ある	苦しい	楽に なる	厳しく なる	今と 同程度			
2003	67.1	23.4%	53.0%														主人	23票
2004	65.8	38.4%	27.6%	30.4%	32.6%	28.0%											自分自身	68票
2005	76.2	43.2%	20.4%				43.6%	230.2	2,000 (3名)			46.4%	53.6%				サッカー日本代表	96票
2006	77.8	49.8%	17.4%				55.2%	313.2	3,000		45.8%	54.2%					荒川静香	68票
2007	77.9	49.2%	20.2%				45.2%	267.9	3,000	7.3	23.6%	49.2%	50.8%	19.8%	45.6%	34.6%	石川遼	58票
2008	75.3	37.0%	26.0%	30.8%	32.6%	36.6%	41.0%	356.3	4,000	12.3	41.6%	45.4%	54.6%	15.2%	46.4%	38.4%	エド・はるみ	38票
2009	65.5	20.6%	53.6%	25.6%	40.8%	33.6%	34.8%	337.2	4,000	9.8	48.0%	38.4%	61.6%	12.2%	50.0%	37.8%	イチロー	107票
2010	67.0	40.8%	28.4%	37.0%	29.8%	33.2%	45.0%	364.5	5,000	8.6	48.6%	44.2%	55.8%	15.6%	40.8%	43.6%	嵐	45票
2011	67.6	33.7%	25.9%	31.3%	31.5%	37.2%	44.7%	336.6	5,500	10.6	48.0%	42.9%	57.1%	16.3%	49.4%	34.3%	石川遼	73票
2012	61.1	24.4%	24.0%	26.2%	35.4%	38.4%	43.6%	384.3	5,000	10.8	48.8%	40.2%	59.8%	13.6%	43.0%	43.4%	AKB48	29票
2013	69.9	37.4%	22.6%	29.2%	25.6%	45.2%	41.8%	416.0	17,000	11.4	53.0%	46.8%	53.2%	17.4%	35.0%	47.6%	本田圭佑	51票

注①:2011年のみ調査対象人数は1,000人

年	夏調査										主な使い道							
	1位		金額 換算	2位		金額 換算	3位		金額 換算	4位		金額 換算						
2003	生活費の補填	51.2%		預貯金など貯蓄			47.0%			ローン・クレジットの支払い		41.2%	国内旅行		28.8%			
2004	預貯金など貯蓄	56.2%		ローン・クレジットの支払い			38.6%			生活費の補填		37.8%	国内旅行		22.0%			
2005	預貯金など貯蓄	53.6%		ローン・クレジットの支払い			37.0%			生活費の補填		31.4%	国内旅行		29.6%			
2006	預貯金など貯蓄	55.2%		ローン・クレジットの支払い			35.8%			生活費の補填		33.4%	国内旅行・帰省		28.0%			
2007	預貯金など貯蓄	58.6%		ローン・クレジットの支払い			37.8%			生活費の補填		33.0%	国内旅行・帰省		30.4%			
2008	預貯金など貯蓄	55.8%		生活費の補填			36.4%			ローン・クレジットの支払い		33.2%	子供の教育関連		25.0%			
2009	預貯金など貯蓄	51.6%		生活費の補填			35.4%			ローン・クレジットの支払い		31.2%	国内旅行・帰省		22.2%			
2010	預貯金など貯蓄	74.2%	26.7万円	生活費の補填			39.6%	7.5万円	ローンの支払い			37.6%	11.2万円	チチ賀		28.4%	2.3万円	
2011	預貯金など貯蓄	68.7%	24.2万円	生活費の補填			39.2%	7.8万円	ローンの支払い			33.0%	9.6万円	国内旅行・帰省		29.7%	4.1万円	
2012	預貯金など貯蓄	72.8%	24.2万円	生活費の補填			38.2%	7.5万円	ローンの支払い			32.6%	8.7万円	国内旅行・帰省		26.6%	3.3万円	
2013	預貯金など貯蓄	70.0%	26.4万円	生活費の補填			40.2%	9.9万円	ローンの支払い			31.0%	9.5万円	国内旅行・帰省		23.6%	3.3万円	

注②:主な使い道に関する質問は10年夏より「ローンの支払い」と「クレジットの支払い」に分割

【本件に関するお問い合わせ先】

損保ジャパン・ディー・アイ・ワイ生命保険株式会社
経営企画部 広報グループ：植松、高月 TEL:03-5437-9026